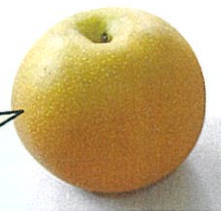


ちさんちしょう 地産地消だより

今回は、今年度 第2回目の地産地消の取り組みとして、紙屋地区にある富永果樹園さんで生産された「豊水」という品種の梨を提供していただきました。小林市ではいろいろな果物が作られ、野尻町内にもたくさんの農家さんがいらっしやいます。今回は110個の梨を届けてくださいました。一つひとつ手作業で育てられた梨です。味わっていただきましょう！

◇「豊水」ってどんな梨？

果汁をたっぷり含んでいてジューシーな梨です。甘味の中に、やさしい酸味が感じられます。



◎ 食感の理由 ◎

梨のシャリシャリとした食感
は「石細胞」という細胞が作りだ
出していて、おなかの動きを
よくしてくれる効果があります。



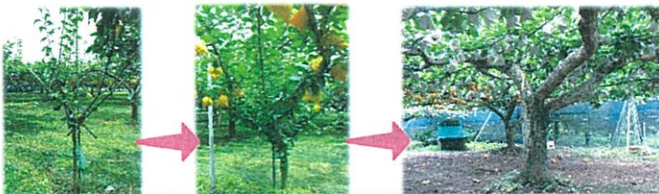
富永果樹園さんでは、豊水・幸水・新高・あきづきなど、約10種類の梨に加えて、米やぶどう等も栽培されています。

害虫や傷みから守るために、1個ずつ手作業で袋をかけています。梨の種類にあった厚さの袋をかけているそうです。



樹齢は30年程ですが、30年を過ぎた頃からは病気になりやすくなるので、年に数本、新しい木に植え替えます。実がなり、本格的に収穫できるのは5年目くらいからだそうです。

袋の中で大きく育っています



生産者の内村さん

生産者の内村さんに 聞きました！

Q. 育てていてうれしいことはなんですか？

A. 毎年きれいな花を咲かせてくれて、その後、実になるとうれしいです。

Q. 大変なことや気をつけていることはなんですか？

A. 病気や害虫に気をつけています。また、農薬の使用もできるだけ少なくなるようにしています。

◎ 内村さんより みなさんへ

育てた梨を、野尻の子どもたちに食べてもらえて、とてもうれしいです。暑い日が続きますが、地元で生産された食材をたくさん食べて、元気に過ごしてください！